

## パーソナルコンピュータシステムの紹介

総合情報処理センター

森内 義己

E-mail: moriuchi@net2.nagasaki-u.ac.jp

今回、新システムで導入されたパーソナルコンピュータは、富士通 FMV-5133D モデルを 195 台（うち、センター内 90 台、新端末室 81 台、附属図書館 24 台）設置した。

また、これらのパーソナルコンピュータ（以下、パソコンと略す）は、FM サーバ（WindowsNT サーバ3.51）の導入により、サーバ/クライアントの様々な機能を利用者に提供できるシステムを構成している。

ここでは、FMV の機器構成や利用方法などを簡単に説明する。

### 1. システム概要

#### 1.1 ハードウェア

FMV5133D モデル    Pentium    : 133MHz  
                              メモリ        : 32MB  
                              OS            : Windows95  
                              内蔵 HD     : 1.2GB  
                              4 倍速 CD-ROM  
                              カラーディスプレイ 15 インチ  
プリンタ装置        LaserPress4150PS(FUJI-Xerox)  
                              カラープリンタ MJ-810C(EPSON)  
イメージスキャ装置    GT-8500Win(EPSON)

#### 1.2 アプリケーションソフトウェア

- ① MS-Windows95
- ② MS-OFFICE95 (Word, Excel, Scheduler, Power-Point)
- ③ MS-Visual C++
- ④ MS-Visual Basic
- ⑤ PC-Xware (X-Windowクライアントソフト)
- ⑥ TYPEQUICK
- ⑦ WinYAT (電子メール/ニュースソフト)
- ⑧ Netscape Navigator
- ⑨ 学研統合電子辞書

#### 1.3 設置場所一覧

設置場所	パソコン(FMV)	レーザープリンタ	カラープリンタ	イメージスキャ
センター内				
第1 端末室	62	4		
第2 端末室	10	2	2	2
入出力室	8	2	7	7
その他	9	2		

設置場所	パソコン(FMV)	レーザープリンタ	カラープリンタ	イメージスキャナ
センター外				
新端末室	81	4	7	7
図書館本館	14	2	1	1
図書館医分	6	1	7	7
図書館経分	4	1	1	1

#### 1.4 セルフメンテナンスシステムについて

新システムで導入したパソコンには、セルフメンテナンスシステムという機構が組み込まれている。これは、ファイルの削除、追加、変更を行ったとしても、電源を切って再度起動すれば、初期状態に戻るという仕組みで、センタの設置したパソコンを使って何かユーザデータを作成した場合には、電源切断によって消去されるので、保存が必要なデータを作成する場合には、必ずフロッピーディスクやMO等を用意して、そこにデータを保存するようにしてほしい。

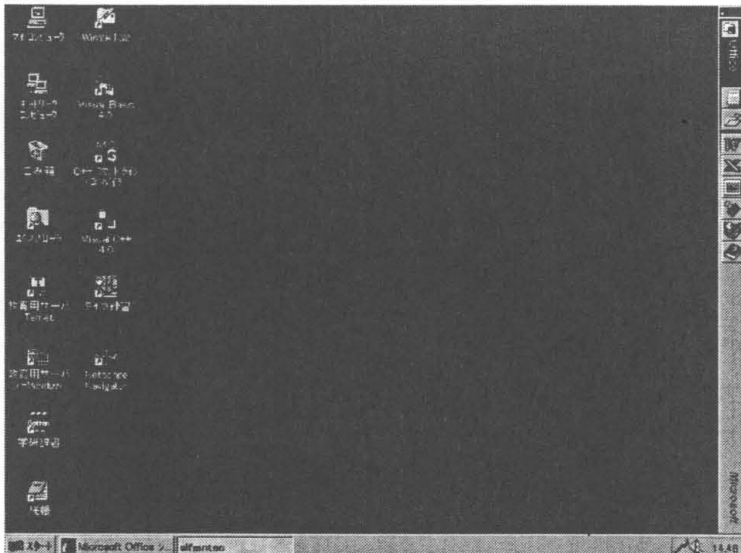
なお、セルフメンテナンス機構の働かない（電源を切断してもデータが残っている）ドライブとして、D、とXドライブを用意しているので、データの一時保管等には、このドライブを利用してほしい。

ただし、D、Xドライブに置いてあるデータは、断り無くセンタ側で消去することがある。

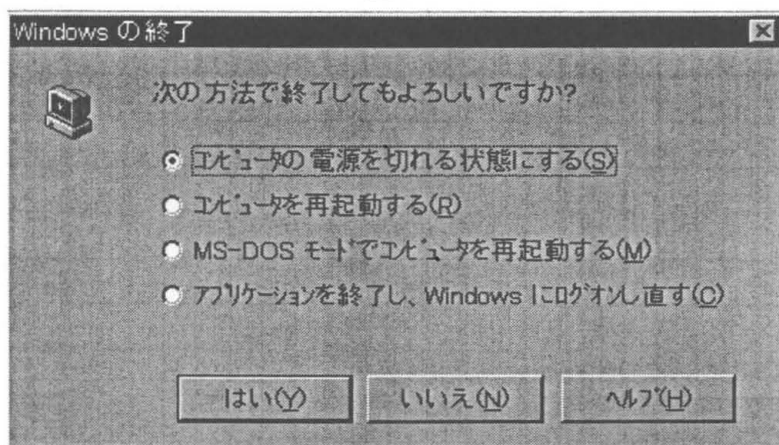
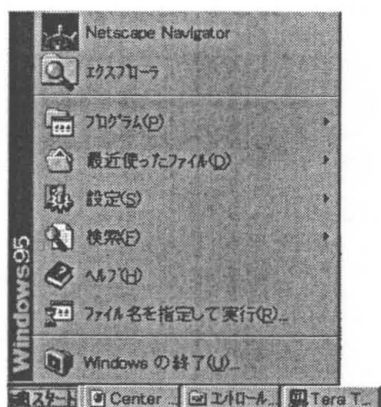
## 2. 利用方法詳細

### 2.1 パソコンの起動と終了

パソコン（FMV）本体の右下の電源スイッチ（○）を押すと、次のような画面（デスクトップ）が表示される。（なお、実際の画面はカラー表示である。）



終了する場合は、画面左下の「スタート」→「Windows の終了」→「コンピュータの電源を切れる状態にする」の順で選択し、「はい」ボタンをクリックするとパソコンの電源が切れ、終了する。



## 2.2 アプリケーションの起動方法

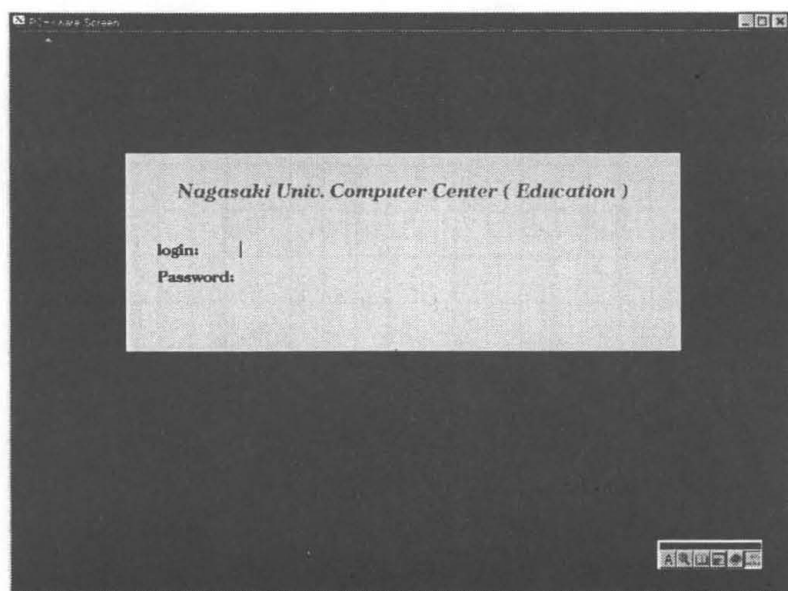
各アプリケーションは、デスクトップ上のアイコンをダブルクリックするか、スタートボタンをクリックして、プログラムを選択することで起動する。



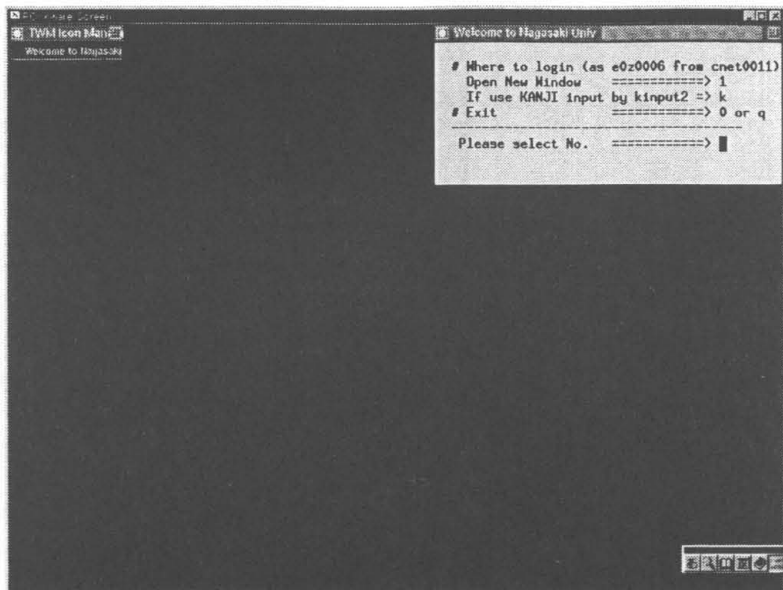


#### ① X-Window の利用

デスクトップ上のアイコンからスタートメニューで X-Window をクリックすると、選択肢「研究用サーバ」、「教育用サーバ」、「学生用サーバ」が表示されるので、該当する項目を選択すると、次の画面が表示される。



この状態で、ログイン名とパスワードを入力することにより、計算機システムを利用することができる。



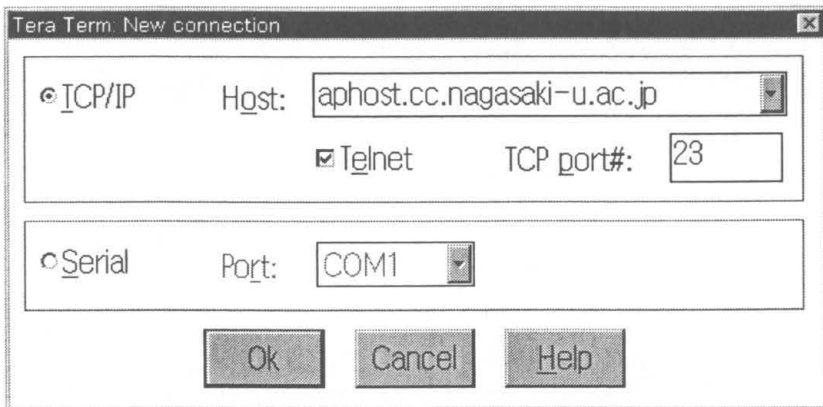
「1」を選択すると、システム利用可能なターミナルが起動される。

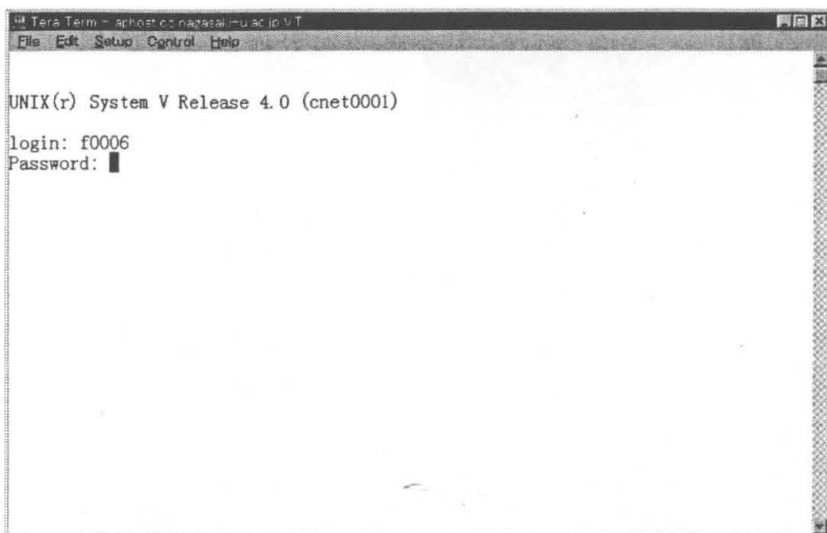
「k」を選択すると、日本語入力可能なモードとなり、ターミナル画面で、Shift キーとスペースキーを同時に押すと、日本語入力モードに切り替わる。

## ② Telnet (Teraterm) の利用

デスクトップ上の「教育用サーバTelnet」をクリックし、利用する計算機システムのホスト名を選択する。

- ・研究利用 ID で利用できる計算機 = aphost.cc.nagasaki-u.ac.jp
- ・教育利用 ID で利用できる計算機 = eduhost.cc.nagasaki-u.ac.jp
- ・学生利用 ID で利用できる計算機 = unixhost.stcc.nagasaki-u.ac.jp





ログイン名は次の3種類

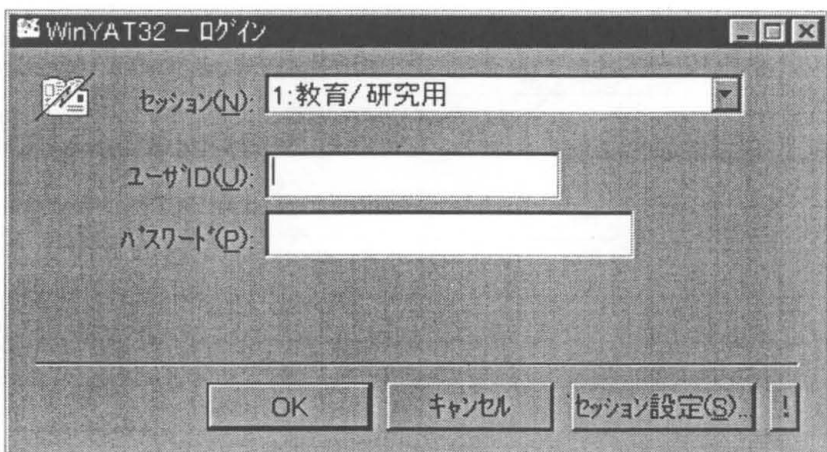
- ・研究利用 ID : f0000~f9999, j[ntk]000~j[ntk]999
- ・教育利用 ID : e0a0000~e9z9999
- ・学生利用 ID : s000000a~s999999z, d000000a~d999999z, ea000~ea999

### ③ 電子メール/ニュースリーダー (Win/YAT) の利用

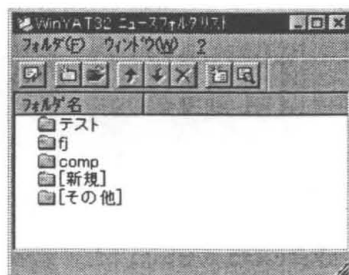
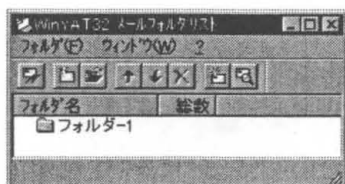
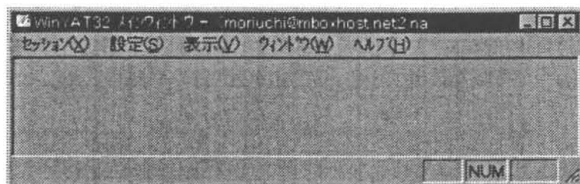
デスクトップ上の「WinYAT32」をクリックし、各種設定（ユーザ ID、パスワード、メール/ニュースサーバなど）を行い、メールの送受信やニュースの読書きを行う。

新システムにおける POP(Yat)サーバのホスト名は、次の2種類

- ・研究利用 ID 及び教育用 ID のユーザ = mboxhost.cc.nagasaki-u.ac.jp
- ・学生利用 ID のユーザ = mboxhost.stcc.nagasaki-u.ac.jp



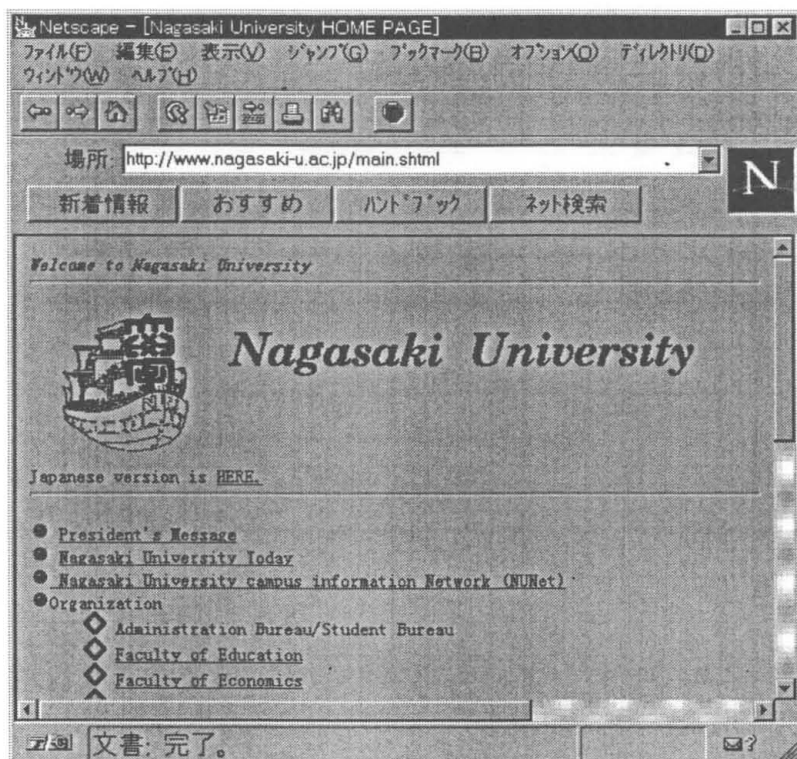
入力された、ユーザ ID 及びパスワードが正しければ、次の「Win/YAT メインウインドウ」やメール/ニュースのフォルダリストが表示される。

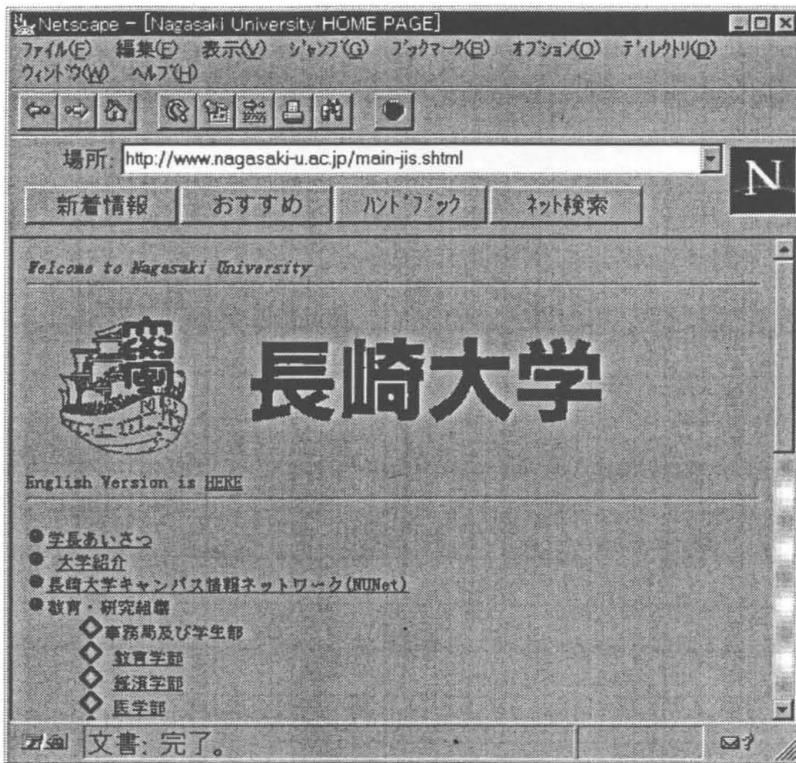


#### ④ ネットスケープ (Netscape) の利用

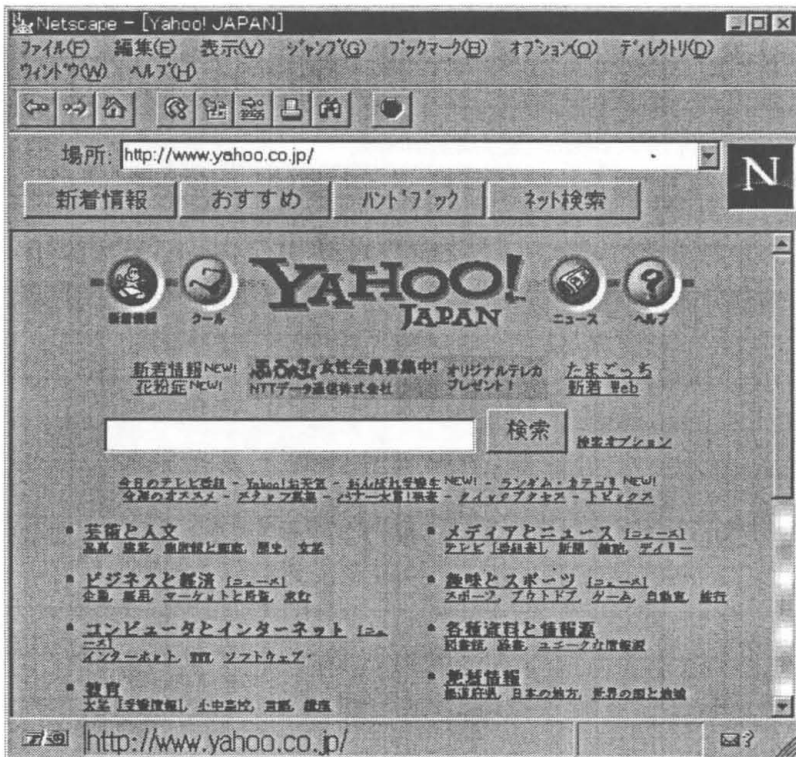
デスクトップ上の「Netscape Navigator」のアイコンをクリックする。

ネットスケープが起動されると、次の英語版の長崎大学のホームページされるので、日本語表示に切り替える時は、「Japanese version is HERE.」の個所をクリックする。





・検索サーバ ( <http://www.yahoo.co.jp> )





### ⑤ ファイル転送 (ftp) の利用

パソコン上のファイルをホストへ転送したり、またその逆を行うものである。

MS-DOS プロンプト上で、コマンド **ftp** と入力し、転送する先のホスト名を入力します。

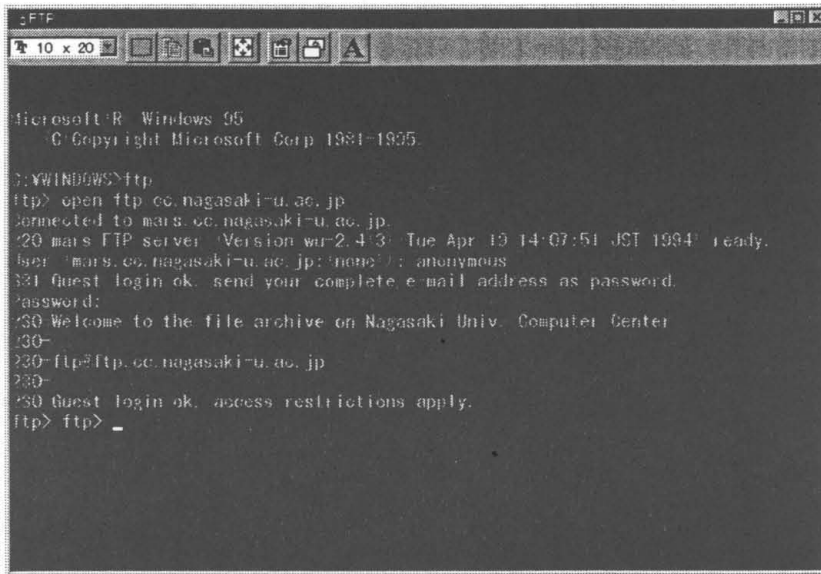
・匿名 ftp ホスト名: **ftp.cc.nagasaki-u.ac.jp**

ログイン名: **anonymous**、パスワード: メールアドレス

・研究用 : **aphost.cc.nagasaki-u.ac.jp**

・教育用 : **eduhost.cc.nagasaki-u.ac.jp**

・学生用 : **unixhost.stcc.nagasaki-u.ac.jp**



```
Microsoft Windows 95
Copyright Microsoft Corp 1981-1995

C:\WINDOWS>ftp
ftp> open ftp.cc.nagasaki-u.ac.jp
connected to mars.cc.nagasaki-u.ac.jp.
220 mars FTP server (Version war-2.4.3) Tue Apr 19 14:07:51 JST 1994 ready.
User (mars.cc.nagasaki-u.ac.jp:(none)): anonymous
331 Guest login ok, send your complete e-mail address as password.
Password:
330 Welcome to the file archive on Nagasaki Univ. Computer Center
330-
330-ftp@ftp.cc.nagasaki-u.ac.jp
330-
330 Guest login ok, access restrictions apply.
ftp> ftp> _
```

・パソコン→ホスト転送

**put a:xxxx.xxx yyyy**

と入力すると、パソコンの A ドライブのフロッピーディスクから、**xxxx.xxx** というファイルをホストに対して転送する。ホスト上では、**yyyy** という名前のファイルになる。

・ホスト→パソコン転送

**get yyyy a:xxxx.xxx**

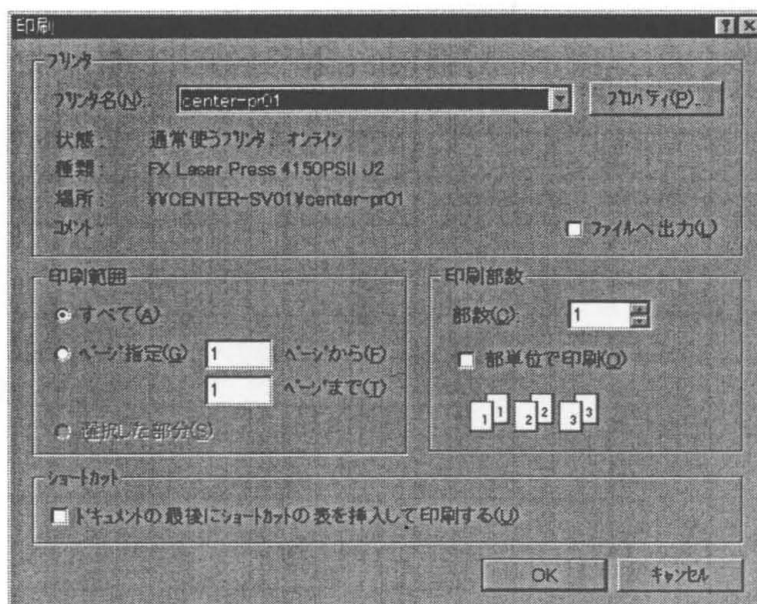
と入力すると、ホスト上の **yyyy** というファイルがパソコンの A ドライブのフロッピーディスクへ転送され、**xxxx.xxx** という名前のファイルになる。

※複数のファイルを同時に転送するには、**mput**、**mget** というコマンドを利用する。

・終了する場合は、**ftp>** プロンプトところで、**bye** と入力する。

### 3. その他

- ・レーザプリンタ (Laser Press 4150PS) やカラープリンタ (EPSON MJ-810) への印刷  
それぞれのアプリケーションの印刷モードで設定を行い出力する。



- ・画面のハードコピーを印刷する場合は、

Ctrl キーと Print Screen キーを同時に押す：画面全体

Alt キーと Print Screen キーを同時に押す：任意のウィンドウ (アクティブウィンドウ)  
の操作をして、「プログラム」→「アクセサリ」→「ペイント」を起動して、編集項目の貼付け  
を行ってから、印刷する。

